

【学校経営ビジョン】
 小規模校の特性や学校の組織力、教職員一人一人の資質を生かすとともに、家庭や地域との連携強化を推進し、創意・工夫豊かな、地域に根ざした教育活動の充実を図る中で、学校の教育目標の具現化と地域に信頼される学校づくりに努める。
 ～「夢や目標を大切にしながら児童一人一人に自立心を育むキャリア教育」の推進・「導き、見守り、見届け、褒める教育」の推進～

【4段階評価】 4：達成（期待以上） 3：ほぼ達成（ほぼ期待どおり） 2：不十分（やや期待を下回る） 1：改善を要する（期待を下回る）

評価項目	評価指標	評価				総合評価	成果・課題及び改善策	学校運営協議会評価コメント
		児童	保護者	学校	委員			
確かな学力の定着	① ・「授業の目標やねらい」「学習のめあて」「まとめ」の整合性のある授業実践及び習得の時間の充実を図り、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。（確実な振り返り）	3.6	3.5	3.1		3.4 ↑ (+0.2)	○全国学力・学習状況調査やみやざき学力テスト、CRTテストでは平均を上回る結果となり、児童の学ぶ意欲や基礎学力の定着が図られてきている。 ■日南教育「三つの幸」をどう浸透させていくのか研修を深め、授業改善に取り組みたい。	○全国学力・学習状況調査（6年）で、宮崎県の平均を上回っているとのことで、確かな基礎学力の定着化や指導を学校側がされているのではないかと感じました。 ○全教科で宮崎県の平均を上回ったということは小規模校の強みを生かして指導していただいていることの証拠だと思います。引き続き基礎学力の向上に努めて頂きたい。 ○中学校からの先を目指して、基礎学力をつけている事がとても大切だと思います。児童に寄り添い、それぞれの学力に応じたご指導を期待しています。
	② ・小中連携の充実を図り、9年間を見通した指導計画や学習指導法の工夫改善や家庭学習の充実を図ることにより、確かな学力の向上を図る。	3.8	3.4	3.3		3.6 ↑ (+0.2)	○中学校からの乗り入れ授業、外国語専科、小学校体育専科授業、一部教科担任制を導入し、教職員の得意分野や専門性を生かし、学力向上や9年間のつながりを意識した指導に努めることができた。 ■複式指導の解消やICT機器を活用した学習の指導方法は職員の意識向上と研修が大切である。	○子どもたちは、タブレットを上手に使いこなしている様子です。読書もペーパーレス化していくのでしょうか。基礎学力の習得は6年間にあると考えます。確かな学力向上は、中・高につながりますのでしっかりと身に付けたいものです。特別支援教育については、近年どの学校（大規模に限らず）でも聞くようになりました。しっかりと原因を把握する必要もあるのかと、。 ○児童は、授業がどのように進んでいくのか把握して学習しているように思います。小中合同での取組があり、次の学年、その先の学年のことまで見ていて良いと思います。読書数が多くてすばらしく思います。特別な支援や合理的配慮を行いながら教育指導され、個々に行き届いた教育ができてきていると思います。
	③ ・子どもの実態に即した読書指導と学校図書館の効果的な活用により、読書活動の充実を図る。（夢中になる読書）	3.4	3.3	3.0		3.4 ↑ (+0.2)	○移動図書館や学級文庫（市立図書館）、ひなデジ（電子書籍）等で多くの本に触れる機会を設けた。 ○「家読週間」の設定や図書委員会の活動、読書集会での呼びかけなどの工夫で年間貸し出し数が増えた。 ■貸し出し冊数や読書量には個人差がある。個人に合った本選定ができるようになると良い。	
	④ ・特別支援教育体制の整備・充実により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童への教育指導の充実を図る。		3.8	3.2		3.6 ↑ (+0.1)	○特別支援コーディネーターを中心に、月に1回職員研修を行って、児童の情報を共有し個に応じた対応を協議した。チーフコーディネーターの巡回相談を利用しながら保護者と学校、関係機関で連携を重ねた。	
豊かな心を育む教育の充実	① ・指導事項の共通理解と共同実践、家庭との緊密な連携により、基本的な生活習慣の育成に努める。	3.5	3.3	3.2		3.4 ↑ (+0.2)	○「わが家のメディアルール」を家庭と協力して作成し、今後は見直しをしながら改善していく。 ○「榎原小のよい子の1日」やチェックシートを活用し、基本的な生活習慣の育成に努めた。 ■SNSやゲームによる夜更かし等の生活習慣の問題においては、継続して家庭と連携していく。	○学校側が生活チェックシートを活用してくれる事で、少しでも家庭で声かけし易くなります。しかし、保護者同士でたまに話す中でも、なかなか思い通りにいかない事も多いのかなと感じます。褒める教育推進という事で、児童同士がメモを貼り付けてお互いをほめ合う事は、とても素晴らしい活動だと思いました。 ○学力の向上は大切なことではあるけど、それにも増して、大切なことは、豊かな心を育むことだと思います。褒める教育の推進など豊か心を育む取組を期待しています。
	② ・特別の教科道徳や学級活動（体験的な活動等）の充実により、豊かな感性を育むとともに、規範意識や自主性、社会性の向上を図る。	3.3	3.5	3.4		3.5 ↑ (+0.2)	○性に関する教育週間（レインボープラン）や人権と平和について考える週間に合わせた授業を参観日で行い、思いやりや命について親子で考える取組を実施した。 ○地域の方や外部講師を招き、人権教育や平和学習に取り組んだ。	○心の豊かさ、思いやり、あたり前のことですが、情報過多（たまにある間違った情報）を見極める力が必要と考えます。叱るより褒める、大事なことですが、時には叱ること（方法も含め）も必要なのは、。 ○スマートフォンや動画配信など見たり、遊んだりできる物がたくさんあり、睡眠時間をしっかりとっているか気になります。道徳の教育は、大切だと思います。1～6年生まで仲良く過ごすことができているとは思いますが、保護者同士も交流を深め、見守っていく必要があると思います。褒める教育を行いながら、自己肯定感をしっかり持って、学校生活を送ってほしいです。
	③ ・人権教育やコミュニケーション力の向上を推進し「いじめ防止基本方針」に沿った教育指導や教育活動の充実により、いじめの未然防止に努め、思いやりの心の育成を図る。	3.6	3.5	3.4		3.6 ↑ (+0.2)	○スクールカウンセラー相談や毎月の「心のアンケート」、教育相談を実施し児童に寄り添った指導を心がけた。 ○職員研修で「いじめ防止基本方針」の見直しを行い早期発見・対応の仕方など全職員で共通理解を深めた。	
	④ ・褒める教育の推進に努め、児童会活動を含め教育活動全般において自主的・実践的な態度の育成を図る。	3.9	3.7	3.4		3.7 ↑ (+0.2)	○人権週間にあわせて「ありがとうの木」を作成し嬉しかったことや感謝していることなどを自分の言葉で表現する取組を実施した。 ○児童会の「募金活動」、「みんなで遊ぶ日」の計画・運営で自主性を育てた。	
心身の健康及び安全教育の充実	① ・スクールスポーツプランに沿った確実な実践に努め、基礎体力や健康意識の向上を目指す。	3.8	3.3	3.0		3.4 ↑ (+0.5)	○朝の会やよわらっこタイムにおいて、「ムキムキタイム」を設定し、日常的に体を動かすことを取り入れ習慣化した。 ■体力テストの結果から、走種目・上体おこしが課題とわかり、今後対策を考えていきたい。	○家庭では、日頃学校でどれ位の運動をしているかは分からなかったのですが、今日の協議会で色々と体を動かす事をされていると感じました。 ○非常時避難訓練を長年続けて頂いています。引き続きよろしく願います。 ○基礎体力は色々な場面に応じてとても大切だと思います。日頃の生活習慣や意識を大切に頑張ってください。 ○基礎体力の低下が気になります。災害時は、自分の命は自分で守るという心がけが必要。
	② ・非常時避難訓練や日常の安全指導の充実を通して、防災・安全意識を高めるとともに、危険予測・回避能力の育成に努める。	3.9	3.9	3.4	3.6	3.7 ↑ (+0.1)	○本年度初めての小中合同引き渡し訓練を実施することができた。今後も課題を検討していきたい。 ○毎月の安全点検報告の徹底で環境づくりに努めた。 ○災害時の体験活動や講話（交通安全課・ヤマト防災）でより身近な安全について考えることができるような場の設定を工夫した。 ■非常時における体育館内備品について整理したが今後も見直しが必要だと感じる。	○元氣いっぱい遊んで、自分の体力にも目を向けて健康な体をつくってほしいです。自分の身は自分で守る意識を持ってもらいたいです。そのような取組があり、どうすればいいか身に付けていると思います。給食指導などにより、子どもがいつの間にか何でも食べられるようになっていて、とても助かっています。
	③ ・給食指導や食に関する指導の充実及び学年の発達段階に応じた「弁当の日」の実践により、食育の充実を図る。	3.7	3.8	3.2		3.6 ↑ (+0.1)	○8割以上の児童が弁当作りに関わっていた。弁当作りを通して、親子のコミュニケーションが図れたようだった。 ■低学年の児童でもできることを提示する。また、継続的に弁当の日の取組を行ってきたい。	
及地域自と立つ性な・が社会性の育成	① ・地域の方との交流学習を計画的に進め、地域のよさを感じ取らせ、郷土榎原を愛する児童の育成を図る。	3.7	3.8	3.2		3.6 ↑ (+0.2)	○本年度の地域交流学習では、6名の方に参加いただき、グラウンドゴルフを通して、ふれあい交流を実施することができた。 ○榎原の歴史や文化等を学習する授業では、榎原神社や夢ひろば、郵便局、交番など身近な場所で話を聞く活動ができることは大変ありがたい。 ○小村寿太郎について学ぶ「振徳の日」を実施した。	○鶴元さんをはじめ、米作りなど色々な地域の方との交流で学習し、郷土愛を育む努力が素晴らしいと感じました。 ○この地域が好きだという気持ちを持つそんな御指導をこれからも願います。 ○自分達の生まれ育った地域に深く関わる事で愛着心が生まれ、地域の方々との触れ合いも生まれ、将来に対する色々な道筋も生まれると思います。これからも地域・学校・地域住民との交流を大切にしてもらいたいです。 ○地域を知ることで子どもたちは伸びるだろうし、地域で子どもたちが活動することでこの地の活性化にもつながるのでは。 ○地域の行事や地域の方々と交わり、また感謝の気持ちも育まれて良いと思います。保護者も積極的に地域の活動に参加し連携を強めていきたいです。
	② ・地域学校協働本部事業の推進を図り、キャリア教育及び地域と連携した教育活動を充実させる。 ・自ら学ぶ意欲や学び方の育成を図り、新時代を生き抜く「三つの幸」を育てる日南教育を推進する。	3.9	3.7	3.3		3.7 ↑ (+0.2)	○全学年キャリアパスポートを利用し、学んだことを次の学年に記録として残すことができた。 ○お米作りや花いっぱい活動、味覚の授業、おびづくり、鑑賞教室、雪遊び等、児童の体験学習を多く取り入れ、心豊かな感性の育成に努めた。 ○地域コーディネーターの鶴元様が外部とのつながりを支援していただき無事に行事が成り立っている	